



- 【調査速報】 奈良時代の大型倉庫みつかるー彦根市福満遺跡ー
- 【資料紹介】 大津事件関係資料（滋賀県指定文化財）
- 【体験案内】 わくわく秋の体験教室・おとなの考古学体験講座
- 【展示案内】 キミそっくりな古代人がいたよ 原始・古代の人物表現
- 【展示リニューアル】 いらないともったいないの考古学

【調査速報】

奈良時代の大型倉庫みつかる

ふくみつ
ー彦根市福満遺跡ー



四角い穴が、柱を据え付けるための柱穴です。桁行4間・梁行3間の規模がある大型倉庫です。

(写真：彦根市教育委員会提供)

東西に整然と並ぶ2棟の掘立柱建物がみつかりました。これらは奈良時代（約1300年前）のもので、建物構造から倉庫と判断されます。いずれも、20畳前後の広さがある大型のものです。近くには、倉庫を管理していたと推定される掘立柱建物もみつかっており、一般的な集落とは異なる様子がうかがえます。周辺の物資を集約し、管理するような機関があったと考えられます。



彦根市福満遺跡（仮称）彦根市新市民体育センター等建設に伴う発掘調査

福満遺跡は、JR 東海道線南彦根駅近くの彦根市小泉町地先に所在します。彦根市域の南には、鈴鹿山系を源流とする犬上川が流れており、当遺跡はその右岸に位置しています。

この遺跡が知られるようになったのは、大正 7 年（1918 年）のことで、水田の約 1 m 下層から弥生土器が見つかったのがきっかけです。その後も、施設建設や宅地造成などの開発に伴い、多くの発掘調査が実施されてきました。昭和 56・57 年（1981・1982 年）の調査で発見された犬上川の旧河道からは、おびただしい数の縄文土器が出土し、湖東地域における縄文時代の生活の在り方を考える上で貴重な成果となっています。また、縄文時代以降の集落跡も発見され、さまざまな時代の遺構が重なる複合遺跡として周知されています。



弥生時代から鎌倉時代の建物や溝



平安時代の河川から出土した鉄鏃



重複して見つかった弥生時代後期の竪穴住居（手前）



弥生時代後期の竪穴住居から出土した壺・器台など

平成 29 年度（2017 年度）から平成 30 年度（2018 年度）にかけて、第 23 次となる発掘調査を実施しています。これまでに、縄文時代晩期から鎌倉時代までの、複数の時代にわたる遺構・遺物がみつかっています。

竪穴住居は、弥生時代、古墳時代の二つの時代のものが発見されました。古墳時代の住居からは当時のアクセサリーである管玉や、韓式系土器が出土しているものもあります。

また、複数の河川が見つかっており、うち一条は幅 15 m 以上の規模が想定されるものでした。この河川からは平安時代から鎌倉時代を中心とする遺物が出土しており、大量の土器や木製品が出土しました。木製品の中には「アカスクイ」と呼ばれる船に溜まった水を掻き出す道具も出土しており、船による河川交通があったことも想定されます。加えて、鉄鏃などの金属製品が良好な状態で見つかりました。

鎌倉時代の溝からは、墨書土器などとともに、朱漆が美しく残存する漆器が見つかりました。

このように、福満遺跡では縄文時代から鎌倉時代にかけての生活の痕跡を見ることができます。今後の発掘調査によって、遺跡の全貌が明らかになっていくことでしょう。



滋賀県立琵琶湖文化館 資料紹介

大津事件関係資料（滋賀県指定文化財）

平成 30 年（2018 年）は、明治元年（1868 年）から起算して満 150 年の年に当たります。この「明治 150 年」をきっかけに、琵琶湖文化館の収蔵品で、「明治」を物語る貴重な資料を紹介します。それがこの「大津事件関係資料」です。

大津事件は、明治 24 年（1891 年）、訪日中のロシア皇太子ニコライが、遊覧先の大津の地で、警備にあたっていた巡査・津田三蔵にサーベルで切りつけられ負傷した事件です。この事件は、その後の裁判で「司法権の独立」を守ったことにより、三権分立の意識を広めたことなど、近代日本史において重要な出来事とされています。

この関係資料の中には、事件の凶器であるサーベルやニコライの血をぬぐったハンカチ、ニコライが腰を掛けた床几や座布団のほか、津田の取り調べ調書などがあります。殊にハンカチに付着した血痕は茶色く変色してはいるものの、明治 24 年の事件当時の様子を生々しく伝えています。



滋賀県立琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL. 077-522-8179 FAX. 077-522-9634

E-mail: biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

URL: <http://www.biwakobunkakan.jp/>



ホームページは、
こちらから

平成 30 年度 滋賀県埋蔵文化財センター

わくわく秋の体験教室



●かんたん織物体験

日時：10月20日（土）
10:00～15:00

定員：なし

材料費：無料

予約：不要（随時受付）

●勾玉作り体験

日時：11月3日（祝）
10:00～12:00

定員：20名（先着順受付）

材料費：500円

予約：要

お申込み先：滋賀県埋蔵文化財センター
受付時間：9:00～17:00（月～金）

◆開催場所：滋賀県埋蔵文化財センター



勾玉作り体験

滋賀県埋蔵文化財センター
〒520-2122
滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2
TEL. 077-548-9681
FAX. 077-548-9682

「大人だってやってみたい」の声にお応えします！

おとなの考古学体験講座



●骨角器製作体験

日時：10月21日（日）
13:30～

定員：8名（先着順）

材料費：1,500円

●勾玉製作体験

日時：11月11日（日）
13:30～

定員：8名（先着順）

材料費：1,000円

●石器製作体験

日時：11月23日（祝）
13:30～

定員：8名（先着順）

材料費：2,000円

◆開催場所：滋賀県埋蔵文化財センター

◆お申し込み・お問い合わせ

下記の電話または E-Mail で受け付けています。（平日 9:00～17:00）

※4名以上で開催します。

※受付は、開催日の5日前に締め切ります。

※大人のための講座ですので、中学生以上の参加となります。

※汚れても良い服装でお越しください。

公益財団法人滋賀県文化財保護協会
〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2
TEL. 077-548-9780 FAX. 077-543-1525
E-mail: somu@shiga-bunkazai.jp



詳しいご案内のチラシ
はこちらから

滋賀県立安土城考古博物館 平成 30 年度秋季特別展

キミそっくりな古代人がいたよ 原始・古代の人物表現

県内や近畿・東海地方から出土した、原始・古代の人物を表現した各種の考古資料を展示し、各時代の人物表現の違いや連続性について焦点をあてる展覧会です。

土偶・木偶・埴輪について、トークショーや関連講座も開催します。



滋賀県内出土の木偶

平成 30 年
10月20日（土）～12月2日（日）

●入館料（特別展開催中）

大人 890 円（680 円） 高大生 630 円（460 円） 小中生 410 円（310 円）
県内高齢者（65 歳以上）450 円（340 円）※（ ）内は 20 人以上の団体料金

●開館時間 午前 9 時～午後 5 時 ※入館は午後 4 時 30 分まで

●休館日 月曜日

滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678
TEL. 0748-46-2424 FAX. 0748-46-6140
URL: <http://www.azuchi-museum.or.jp/>



関連講座など詳しい
ご案内はこちらから



まめのぶくん

いらないうもったいないの考古学 ～ごみと再利用・再使用の歴史～

現代社会では、大量にものを処分し捨てる社会である一方で、リサイクル・リユースという言葉があるように再利用・再使用も盛んになっています。ごみ捨て、再利用、再使用することは、昔から当たり前のように行われている行為であり、ごみ捨て、再利用、再使用した痕跡は遺跡からも遺構・遺物として多数見つかっています。そこで、縄文時代から室町時代まで土器、石器、船、井戸などの遺物や遺構を通してごみと再利用についての歴史について展示します。

●貴重品の再利用

栗東市十里遺跡では、弥生時代末から古墳時代前期の腕にはめる带状銅釧や破鏡を垂飾に再利用したものが出土しました。带状銅釧を再利用した垂飾は静岡以東の太平洋岸に分布の中心があることから、この地域と深くかわり交流があったことを示す貴重な資料です。

※垂飾…穴にひもを通し、ネックレスのように使ったとみられるもの



十里遺跡 垂飾（带状銅釧再利用品）

●船（舟）は大きな木材

大きな木材を使った船（舟）は非常に重要な乗り物です。一方で大きな木材は、どの時代でも貴重で、不要になった際には、多くの活用の道があります。

守山市弘前遺跡では、古墳時代の船材が井戸枠に再利用され、長浜市塩津港遺跡では、平安時代の船材が側溝に架けられた踏み板として利用されています。今回は塩津港遺跡の船を展示します。



塩津港遺跡 船材

●棺に利用する

日常に使っていた土器を棺として利用することがあります。大津市滋賀里遺跡では、縄文時代晩期に新生児を埋葬する棺として利用していました。棺に使用された土器は東北地方の特徴を持つ土器で、今回はこの土器を展示します。



滋賀里遺跡 土器棺



このほかにも、たくさん展示しています。
ぜひ、お越しください。

展示期間 平成 30 年 9 月 15 日（土）～
（イベント開催日以外の土・日・祝日、12 月 28 日～1 月 3 日は休館）

展示場所 滋賀県埋蔵文化財センターロビー

滋賀県埋蔵文化財センター

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2（「びわこ文化公園」内）

TEL. 077-548-9681 FAX. 077-548-9682

